

## 市民公開講座「認知症を知る part2」報告

認知症分科会班長

JCHO 宇和島病院 原 正樹

愛臨技での継続的な事業として医療・介護等に関わる人を含め一般市民の方々に、早期発見の大切さや認知症と呼ばれる状態にある人に対する接し方を共に学ぶことを目的とした、認知症に関する市民公開講座を開催したので報告します。

1. 日時:2019年12月21日(土)
2. 場所:パフィオ宇和島
3. 対象者:医療・介護等の従事者を含む一般市民
4. 準備品:インフルエンザ対策(手指消毒剤・マスク)・横断幕・懸垂幕・物忘れ相談プログラム(日臨技)・その他備品(プロジェクター・マイク等)は会場備品を使用
5. 協力依頼団体:包括支援センター(宇和島市・松野町)・社会福祉協議会・訪問看護ステーション・介護事業所・家族の会等
6. 参加者数 : スタッフ・講師を含めて 104 名

「市民公開講座」参加者(スタッフ以外)			「認知症検査の実際」参加者	
年齢	男性	女性	職種	人数
20代	2		臨床検査技師	6
30代	4	2	看護師	3
40代	1	14	ヘルパー	2
50代	5	10	栄養士	4
60代	3	18	ケアマネ	1
70代	2	24	不明	2
80代	1	4	合計	18
90以上	1			
合計	19	72		

総数 91名 物忘れ相談プログラム検査者 30名

### 7. 総括

「市民公開講座」にはスタッフ講師を含め 104 名、医療介護従事者向けの「検査の実際」には 18 名、物忘れ相談プログラムには 30 名の参加がありました。総数は少ないけれど認知症に関して 20 歳代から 90 歳以上まで幅広い層で女性の関心が高いことが伺えます。これは職種に起因するものであったり、介護に男性よりも女性が関わる機会が多い現状を反映するものなのかもしれないと推測します。

皆様には認知症を理解し、早期に適切な検査をする事で、認知機能低下を呈する治療が可能な別の疾患が発見できる事を知って頂き、同時に認知症に対する偏見をなくし抵抗なく検査を受けるシステムの中に検査技師も参画すべきと考えます。

市民公開講座は高村会長の認知症の方とは「心」で対話を…言う言葉から始まり、認知症に対する検査技師の関り方の 1 例と、島根大学名誉教授・慶応義塾大学客員教授である堀口淳先生をお招きして特別講演「認知症の予防と治療～最新の知見とケア～」と言う講演に繋げていきました。ここでは認知症の始まりに多い日常生活の変化について・食事や運動による予防について・認知症の患者さんの心理状況について等、ユーモアたっぷりに話をして頂きました。

認知症の検査の実際についても実際の検査の方法や注意点を説明していただき参加者からは勉強になってよかったとのコメントを頂きました。このような公開講座を今後も継続して開催していければと考えます。

当日の風景



受付準備



感染症対策



忘れ相談プログラム準備



認知症検査の実際（講義中）



特別講演



スタッフ一同

## 市民公開講座

### 「認知症を知る part 2」

認知症について知識を高め情報を共有しよう！

入場  
無料

**2019年**

12月21日

11:00-16:00

場所：パフィオ宇和島 ホール・多目的室・ホワイエ

11:00～ 認知症検査の実際（医療・介護等の従事者向けの講義）  
 田中 友美 高知県立あき総合病院

13:00～ 受付開始

13:30～ 開会挨拶  
 高村 好実 市立宇和島病院  
 （一社）愛媛県臨床検査技師会 会長・（一社）日本認知症予防学会 理事

13:40～ 「えっ？ それって本当に認知症？」  
 ～神経心理学的検査と血液検査で確認しよう！～  
 原 正樹 JCHO宇和島病院 （一社）愛媛県臨床検査技師会 副会長

14:30～ 特別講演

「認知症の予防と治療」

～最新の知見とケア～

島根大学名誉教授・慶応大学客員教授



堀口 淳 先生

日臨技生涯教育点数：基礎20点    認定認知症領域検査技師単位：5単位

主催：（一社）愛媛県臨床検査技師会

後援：手をつなぐ南予プロジェクト

お問い合わせ JCHO宇和島病院 臨床検査科診療部 原 正樹  
 TEL: 0895-26-4106（ダイヤルイン）